



・発行・  
京都障害者  
スポーツ会  
振興

題字 芝田 徳造

### 障害者スポーツのつどい550回記念大会

## 笑顔があふれたつどい550

古川 沙夜

「つどい550」最後の企画、「みんなでスポーツ」は楽しんで頂けたでしょうか？私は、「みんなでスポーツ」の企画担当者で、前で指揮を執らせて頂いていたスタッフの一人です。普段はオープンスペースのコナラーを担当させて頂いています。今回は「みんなでスポーツ」に焦点を当てて記事を書かせて頂きます。

「つどい550」と迎えるにあたり、初めてつどいの歴史を学び、過去の資料などを拝見、またベテランのスタッフの方々から様々なお話を聞かせてもらい、自分が生まれてくるかもわからない時から続く「つどい」の歴史を改めて感じる機会を頂きました。年代も経験もバラバラなスタッフで、一つの目標に向かって毎月ミーティングを重ね、「いつものつどい」をメインに「みんなが“主役”」になることをテーマに動き始めました。そして、なぜだかこんな私が

「みんなでスポーツ」の企画担当者にも選んで頂くことになりました。嬉しい反面、不安も伴い一人で担当はできない、ということを経務局に相談させて頂いたらとこる、前田さんと村山さんが一緒に手伝ってくださることになり心強いお二人と一緒に考え、当日に挑みました。

タイトルは「ダンス&カラフル集合ゲーム」。頭の中でイメージはできていても、私たちの企画が参加者の方やスタッフにも楽しんで頂ける内容なのかは実際始まってみないとわからないことばかりで、ほぼぶっつけ本番でスタート。始まった当初は少々不安げな表情を浮かべ、「？」マークが飛んでいた参加者の方々も、進行とともに理解してくださり一安心。台上では、毎月参加してくださっている参加者の方が私の横で画用紙を上げてくださっていて、心強いなあ、と思っていると、またまた毎月参加してくださっている参加者

の方が、流している曲をととても素敵な歌声で歌い始めてくださったり、みんなの方では画用紙の周りに集合できたメンバーでハイタッチが行われていたり、画用紙に集合するだけでなく、これまた毎月参加してくださっている参加者の方が着ておられる赤色のユニフォームにみんなが集合するという景色があつたりして、気づけばあつという間に参加者の方々の表情は笑顔になっていて、またスタッフも同様にとつても良い笑顔で、大型スクリーンに映るパラバルーンもとても綺麗で、この一体感のあるキラキラした景色をずっと見ていたいなあと思ってたくらいでした。ただ、そんなことはできなくて、楽しい時間はあつという間に終了し「つどい550」も終了です。

ことが出来た、世界にたった一つのスポーツだったのではないかと今は自信をもって思うことが出ています。

障害者スポーツという世界に足を踏み入れ、7年余り。また一つ、皆さんの力で他では経験することが出来ない、喜びや達成感を感じ、自分自身成長させてもらえた「つどい550」でした。また、「障害者スポーツのつどい」という長い歴史の中の一部に携わっている事に誇りをもって、これからもスタッフの一員として「障害者スポーツのつどい」を参加者の方々とともに築いていきたいと思つていきます。

☆☆☆☆☆☆

村山 幸介

初めての大きな行事の参加でした。参加させて頂いたくようになつてから三年目の不慣れな自分ですが、気づけば「スポーツ吹き矢」の担当になり、気づけば朝から参加が通常になり、気づけば色々な事に関わり協力するようになっていました。元々あまり積極的な性分ではないのですが、今まで続けて来ることが出来たのはこのつどいの空気が好きだからだと思います。その自分が今回は550を通して「みんなが主役」も手伝わせてもらいました。

(裏面へ)

行事予定	9月	10 (火)	丹波障害者スポーツのつどい	丹波自然運動公園	来月のつどいは  10 / 13  第2日曜
		15 (日)	障害者水泳のつどい	伏見港公園温水プール	
		21 (土)	京都府障害者スポーツ指導者研修会1-④	同志社大学京田辺キャンパス	
		22 (日)	第39回全京都障害者総合スポーツ大会 アーチェリー大会の部	南丹市日吉総合運動広場	
			城陽障害者スポーツのつどい (409回)	サン・アビリティーズ城陽	
	10月	5 (土)	車いすハンドボール審判講習会①	京都市障害者スポーツセンター	
		6 (日)	第39回全京都障害者総合スポーツ大会 FD大会の部	丹波自然運動公園	
		8 (火)	丹波障害者スポーツのつどい	丹波自然運動公園	
		12(土)~14(月)	第19回全国障害者スポーツ大会 いきいき茨城ゆめ大会2019	笠松運動公園陸上競技場、他	
			京都障害者スポーツ振興会ホームページ		
http://www.spo-shin.net/ [2018年リニューアルしました!]					

(表面より) 普段は吹き矢担当であまり他は回る事が出来ないのですが、今回は伝えていく事が少しずつ実を結んでか任せて離れられる機会があり他も少しですが見ている事が出来ました。自分一人ではなく周りに任せることよって手の届く範囲が広がりよかったですと思います。

これが終わってからはどういものかなんとなくは知っていますという競技が多いので無理はしない程度に参加して行つてしつかりとした知識も増やしていけたらと思えました。「みんなでスポーツ」では力になれるか心配しながらでしたが何回も考察しつつ試行錯誤していました。当日を迎えてもギリギリまで段取りや構成の確認をしていると舞台の本番前のような緊張が高まってきていました。ただ、一緒に動き回り学生さん達に協力を仰いでいる内に楽しくなっている事にも気づきました。大変なことでもみんなで力を合わせるのつてとても楽しいことだと当たり前のことを再確認しました。それを本番では参加者さん達がこの「みんなでスポーツ」を通して感じて貰っていたら嬉しいです。

自分は放送室で外から見ているスタッフと参加者さん共に一緒にやることの楽しさを体験してもらうことが実現出来ていたのかなと勝手ながら自分は思いました。一緒に参加できない分も歌いながら

音楽を操作し楽しませてもらいました。普段は個々で楽しんでいる部分もある「つどい」ですが、この時は全員が一緒に一つのことをすることが出来たように思います。

お見送りの時も笑顔の列が出来ていて、それを見て無事終わった安心感と緊張が解けて疲労感がどつと来ました。それでもやり切れたという達成感でいい顔になっていたと思います。スタッフに参加者さんもみんながみんなそれぞれの楽しみ方、参加の仕方、協力の仕方があってそれぞれの想いが繋がって『つどい』は続いているのだなと思います。この素晴らしい取り組みが今後も続いて行くように協力し続けたいと思います。

☆☆☆☆☆☆

渡邊 彰

つどいの記念事業としては、つどい500以来2回目の参加となります。府立体育館の非常勤職員としてお手伝いを始めさせていだいてから9年目になります。その間ずっとバスケットボールのコーナーを担当させていただいています。つどい500の時は溢れんばかりの人でうまったコートが、今回のスタート時は普段のつどいより少ない人数の参加でした。暇そうに見えたのか、いつも来てくださる利用者の方が受付のところまで引つ張ってくれました。「ほら、

保育園が来てるよ。」そう言つて、飾り付けのひまわりの花を指して、「通つた保育園と一緒に、保育園を思い出した、懐かしい。ひまわり綺麗だな」と言つてくれました。少し嬉しい気持ちを持つてコートに戻ると、一人また一人いつものメンバーが集まってきたくれました。

サウンドテーブルテニスに参加した利用者さんは「サーブするよ!」と言つてからするねん!」と自慢げに教えてくれました。卓球バレーに参加した利用者さんは「バシッ!と打つたら気持ちよかつた!」と大喜び、ボッチャを体験した利用者さんは「今日は三人できたしチームを組んで良かった。試合には負けただけ、一緒にできて楽しかった!」と喜んでくれていました。ただ、その中には苦情を伝えてくださった利用者さんもいらつしやいました。「二階行つたけどなんもなかった!」ヘルパーさんが「今回車椅子は出てないんですか」と訪ねてこられました。「第二競技場で車椅子スラロームの体験コーナーをしています」とお答えしました。つどいの終了時間を迎える頃にそのヘルパーさんが「ありがとうございます、楽しそうにしてはりました」とヘルパーさんも楽しそうに伝えるにきてくださいました。みんないろんな体験ができて、楽しかったことを伝えてくれました。

バスケの後半は利用者さん対スタッフの対抗戦となりました。実は記念事業の時はボランティアの方も多く、バスケット経験者が集まる機会でもあるのです。9年前は、本気を出せば勝つていたので、こちらは歳を取るし、参加してくれているメンバーはほとんど上手くなるし、普段はコテンパンにやられています。この機会を利用して、経験者だらけのチームを編成しました。それでも一進一退のシューゲームとなり、終盤続けてラッキーな得点を重ねたスタッフチームが勝ちました。この大事な記念事業で楽しみにして来ていただいた参加者皆様の笑顔を消してしまうという、大失態を

起こしてしまいました。この窮地を救ってくれたのは、「みんなでスポーツ」のコーナーでした。スタッフも参加者も一つになつて楽しむことができ、試合に負けた悔しさも飛んでいったのか心からの笑顔に戻っていました。

今回のつどい550は、参加者の皆様は新しいことにチャレンジできたイベントになったと思います。スタッフの皆様もコーナーごとに趣向を凝らし、どうやったら楽しく過ごしてもらえるか、という課題に真摯に向き合つてきたつどい550になったと思います。自分自身にとつても、記憶に残るつどいとなりました。

起こしてしまいました。この窮地を救ってくれたのは、「みんなでスポーツ」のコーナーでした。スタッフも参加者も一つになつて楽しむことができ、試合に負けた悔しさも飛んでいったのか心からの笑顔に戻っていました。

「障害者スポーツのつどい」第550回記念

# つどい550

みんなが“主役”  
—新しい風に乗って—



令和元年7月14日(日)午後1時30分~4時  
島津アリーナ京都(京都府立体育館)

主催: 京都府立体育館・一般社団法人京都障害者スポーツ振興会